

各感染症対策主管課長
各 医 師 会 長 殿
定点観測医療機関長

福岡県医師会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公印省略)

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報

週報 令和8年-第2週 (R8. 1. 5~R8. 1. 11)

定点	病 名	定点報告数 (○: 警報レベル □: 注意報レベル)						1定点当たり	
		49週	50週	51週	52週	1週	2週	福岡県	全国
		12/1~	12/8~	12/15~	12/22~	12/29~	1/5~	2週 1/5~	
ARI	急性呼吸器感染症	10452	11714	11839	8842	6304	6535	53. 57	53. 43
	インフルエンザ	○8079	○9285	○7770	○4239	○2475	○2019	○16. 41	10. 54
	新型コロナ感染症	67	45	27	49	85	62	0. 50	1. 58
小児科	RSウイルス感染症	33	31	30	38	15	29	0. 41	0. 53
	咽頭結核熱	35	34	40	61	7	51	0. 72	0. 28
	A群溶レン菌咽頭炎	322	393	363	349	129	266	3. 75	2. 03
	感染性胃腸炎	351	374	449	449	302	493	6. 94	5. 78
	水痘	20	30	27	25	41	57	0. 80	0. 57
	手足口病	26	24	14	17	15	3	0. 04	0. 04
	伝染性紅斑	58	67	45	25	5	18	0. 25	0. 37
	突発性発しん	28	25	18	27	11	24	0. 34	0. 25
	ヘルパンギーナ	7	4	3	9	5	2	0. 03	0. 02
	流行性耳下腺炎	1	2	3	2	0	5	0. 07	0. 03
	川崎病 (MCLS)	3	4	2	6	3	2	0. 01	
	マイコプラズマ肺炎	40	26	33	22	11	24	0. 20	
	細菌性髄膜炎	2	0	0	0	0	0	0. 00	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0. 00	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	1	0. 04	0. 01
眼科	流行性角結膜炎	44	46	43	33	5	37	1. 42	0. 66

月報 令和7年-12月 (R7.12.1~R7.12.31) (STD定点数37)

病 名	定点報告数	前月比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全 国
性器クラミジア感染症	92	77%	福岡42、筑豊21	2. 49	2. 19
性器ヘルペス	48	94%	福岡32、筑後7	1. 30	0. 95
尖圭コンジローマ	15	88%	福岡7、北九州4	0. 41	0. 49
淋菌感染症	29	112%	福岡13、筑後9	0. 78	0. 59

■ 総 評

▽ 2026年第2週: R8. 1/5-1/11は前週に年末年始を含むため前週比較は困難。インフルエンザは減少傾向、福岡県は定点当たり16.41(全国は10.54)、キットではA型933人、B型228人とB型の割合が上昇。新型コロナは定点当たり0.50と少なく、前週増加したが今週はやや減少。感染性胃腸炎ではノロウイルスの発生が多い。検査定点医療機関にはインフルエンザの検体提出をお願いします。

■ ARI (R7.15週より内科定点数78-52 ※ARI定点は内科定点と小児科定点によって構成)

- ※ 急性呼吸器感染症: 5週間前から10452、11714、11839、8842、6304、6535と推移。
- ※ インフルエンザ: 減少傾向、定点当たり16.41(前週20.29; 20歳以上37.6%)で警報レベル、キットではA型933人、B型228人とB型の割合が上昇、全国定点当たり10.54(前週10.35)。
- ※ 新型コロナ感染症: 前週増加したが今週はやや減少(20歳以上72.6%)、定点当たり0.50(前週0.70)、全国定点当たり1.58(前週1.13)。

■ 小児科 (R7.15週より小児科定点数120-70)

- ※ RSウイルス感染症: 4歳以上2人。報告は多くはない。
- ※ A群溶レン菌咽頭炎: 発疹合併: 2歳女、3歳男、4歳男、5歳男、11歳男。
- ※ 感染性胃腸炎: 3歳以下44.6%。ノロウイルスの発生が多く、ロタウイルスの報告もある。
 - ・カンピロバクター: 7歳男、12歳女(トリ刺)。
 - ・ロタウイルス: 12歳男。
 - ・アデノウイルス: 9か月男。
 - ・ノロウイルス: 7か月男、8か月男、9か月男、10か月男、1歳男、女、2歳女、5歳女、6歳男、7歳男。
- ※ 水痘: 15歳以上0人。ワクチン済例: 3歳男(R5. 3/27にVZ340、R5. 9/29にVZ347; 中等症)、4歳男(R5. 3/3にVZ338、R5. 11/27にVZ348; 軽症)、4歳女(R5. 2/24にVZ238、R5. 6/10にVZ343; 軽症)、5歳男(R3. 5/13にVZ305、R3. 9/9にVZ306; 中等症)、6歳男(R2. 5/22にVZ277、R3. 3/16にVZ298; 軽症)、7歳男(R1. 10/11にVZ261、R2. 4/9にVZ275; 軽症)、7歳男(R1. 11/21にVZ265、R2. 5/26にVZ280; 軽症)、7歳男(R1. 11/21にVZ264、R2. 5/26にVZ280; 軽症)、7歳男(H31. 3/13にVZ246、R1. 11/18にVZ265; 軽症)、7歳女(R2. 1/7にVZ266、R3. 5/25にVZ300; 軽症)、8歳男(H30. 11/28にVZ232、H31. 3/29にVZ251; 軽症)、8歳女(H30. 4/21にVZ217、H30. 11/28にVZ227; 軽症)、9歳女(H29. 12/27にVZ211、H30. 7/28にVZ221; 軽症)、10歳男(H28. 3/10にVZ168; 軽症)、10歳女(H28. 2/25にVZ168、H28. 7/29にVZ167; 軽症)、11歳女(H27. 12/11にVZ142、H28. 4/22にVZ155; 軽症)、11歳女(H28. 2/20にVZ142、H28. 12/10にVZ192; 軽症)、11歳女(H27. 12/15にVZ142、H28. 7/4にVZ168; 軽症)、11歳女(H27. 8/31にVZ137、H28. 3/8にVZ145; 軽症)、12歳男(H26. 12/6にVZ122、H27. 3/18にVZ135; 軽症)、12歳女(H26. 11/4にVZ113、H27. 9/8にVZ137; 中等症)。
- ※ 流行性耳下腺炎: 15歳以上0人。ワクチン済例: 4歳男(R4. 6/10にZVA040A; 軽症)。
- ※ マイコプラズマ肺炎: 15歳以上3人。遺伝子検査: 7歳女、9歳男、10歳男、女、13歳男、16歳男。抗体検査: 2歳男(PA: 320)、5歳男(1280)、8歳女(640)、11歳女(320)。
- ※ その他の疾患: ヒトメタニューモ: 前週2人、今週3人。

■ 眼科 (眼科定点数26)

- ※ 流行性角結膜炎: キット陽性: 34歳女2人、40歳男。定点外: 6歳男。

■ 基幹 (基幹定点数15)

- ※ マイコプラズマ肺炎: 10歳男、36歳女。
- ※ 細菌性髄膜炎: 76歳男(*Streptococcus pneumoniae*)。
- ※ 無菌性髄膜炎: 24歳女(*Herpes simplex virus*)。

■ ウイルス分離

- ※ インフルエンザ: 11/13の23歳女、11/20の63歳女、11/28の61歳女からA/H3型[北九州市保健環境研究所]。

■ 全数報告

- ※ 腸管出血性大腸菌: 全国今週35人、全国累計48人、福岡県今週2人、福岡県累計3人。
- ※ エムボックス: 全国第2週1人、全国累計1人(R7年23人)。
- ※ 重症熱性血小板減少症候群: 全国第1週1人、全国累計1人、福岡県第2週0人、福岡県累計0人。
- ※ デング熱: 全国第2週4人、全国累計6人、福岡県第2週0人、福岡県累計0人。
- ※ 劇症型溶レン菌感染症: 全国累計50人、福岡県累計3人。
- ※ 梅毒: 全国累計204人、福岡県累計14人。
- ※ 百日咳: 全国累計336人、福岡県累計16人。
- ※ 風しん: 全国第2週0人、全国累計0人(R7年11人)。
- ※ 麻疹: 全国第2週0人、全国累計1人(大阪1; R7年265人)。

※ 福岡県医師会ホームページの感染症情報欄にも掲載されていますので下記URL及びQRコードよりご参照下さい。

URL: <https://www.fukuoka.med.or.jp/doctors/kansenshou/11717.html>

ホーム>医師の皆様>感染症・予防接種>感染症発生動向調査

青木 知信



令和8年－第2週(R8.1.5～R8.1.11)

定点把握対象疾患 1 定点医療機関当たり患者数 【保健所別】

		北九州市	福岡市	久留米市	宗像・通賢	船屋	筑前	糸島	田川	北筑後	南筑後	京隆	嘉穂・妙手
インフルエンザ/ COVID-19定点	インフルエンザ	18.35	17.63	14.43	23.71	13.43	16.00	14.00	7.50	20.50	16.00	13.75	4.14
	COVID19	0.26	0.61	0.43	0.57	0.71	0.60	-	-	-	0.33	2.50	-
小児科定点	RSウイルス感染症	0.23	0.72	-	-	-	0.83	-	-	-	0.40	0.50	-
	咽頭結膜熱	1.15	0.88	0.75	-	1.75	0.50	-	-	-	0.20	-	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.08	5.16	2.25	3.00	6.00	7.17	1.00	-	-	2.20	1.00	2.00
	感染性胃腸炎	11.08	4.56	7.50	6.00	11.25	9.00	17.00	1.00	6.50	8.40	4.50	-
	水痘	0.38	0.60	-	6.00	0.50	1.33	1.00	-	-	-	-	0.50
	手足口病	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-
	伝染性紅斑	0.31	0.24	-	0.50	-	0.17	3.00	-	-	0.40	-	-
	突発性発しん	0.15	0.16	1.25	-	0.75	0.33	1.00	-	0.50	0.40	1.50	0.25
	ヘルパンギーナ	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性耳下腺炎	0.15	0.04	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	0.17	-	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-
	流行性角結膜炎	1.50	0.86	2.00	1.50	-	-	2.00	2.00	...	3.00	-	2.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.50	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	0.50	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0.50	1.00	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (病原体不明に属する)	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-

定点把握対象疾患 報告数 【年齢階級別】

		0～5カ月	6～11カ月	1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ/ COVID-19定点	インフルエンザ	16	32	331	275	205	233	167	274	142	117	95	62	47	23
	COVID19	-	3	7	1	2	2	2	6	16	6	5	2	5	5
小児科定点	RSウイルス感染症	11	11	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	咽頭結膜熱	1	3	32	9	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	1	59	89	64	40	4	9	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎	6	29	185	99	62	47	13	52	-	-	-	-	-	-
	水痘	-	1	2	13	22	19	-	-	-	-	-	-	-	-
	手足口病	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	伝染性紅斑	-	-	8	2	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん	-	4	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ヘルパンギーナ	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性耳下腺炎	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	1	3	3	-	4	1	4	6	8	2	3	2	-
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (病原体不明に属する)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握対象疾患発生状況

令和8年—第2週(R8.1.5～R8.1.11)

感染症 類 型	疾病名	福岡累計					福岡					全国
		2020	2021	2022	2023	2024	51週	52週	1週	2週	25年 累計	2週
二類	結核	759	757	733	718	883	13	20	1	11	12	216
三類	細菌性赤痢	1			1	2		1				
	腸管出血性大腸菌感染症	181	182	254	215	172	1	4	1	2	3	35
	腸チフス				2	3						
	パラチフス											
四類	E型肝炎	4	6	1	9	8	1					6
	A型肝炎	5	2	5	3	11						2
	エムボックス				1	1						1
	ジカウイルス感染症				1							
	重症熱性血小板減少症候群	2	1	5	2	4						
	チクングニア熱			1	1	1						
	つつが虫病	4	3	7	6	1	2					7
	デング熱	1		10	14	10						4
	日本紅斑熱		7	6	11	8						1
	ボツリヌス症	1										
	マラリア	2		1	2	1						
	ライム病			1	1							
	レジオネラ症	56	60	71	89	77		1	1	1	2	43
	レプトスピラ症		1	3		3						
五類	アメーバ赤痢	14	17	26	22	25						7
	ウイルス性肝炎	13	8	6	9	6						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	116	128	110	112	147	1			1	1	10
	急性弛緩性麻痺	2		3	5	1						1
	急性脳炎	24	22	22	35	29					1	4
	クリプトスポリジウム症	1			2	1						1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	7	9	6	6						3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	26	23	32	48	67	3	1	1	2	3	35
	後天性免疫不全症候群	41	54	63	59	56		2				11
	ジアルジア症	1	2	2	1	3						1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	14	14	13	19	28		1				10
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1		3						1
	侵襲性肺炎球菌感染症	79	81	64	89	116	3		2	2	5	61
	水痘(入院例に限る)	17	16	5	12	27		1			1	22
	梅毒	314	348	566	942	880	11	13	3	9	14	167
	播種性クリプトコックス症	6	5	3	10	7		1				4
	破傷風	3	2	3	6	1						2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	9	3	5	4							
	百日咳	105	29	25	24	216	14	7	2	12	16	283
	風しん	5		1	1							
	麻しん	1	1			1						
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	1	1								
計		1811	1780	2058	2482	2805	49	52	11	40	58	939

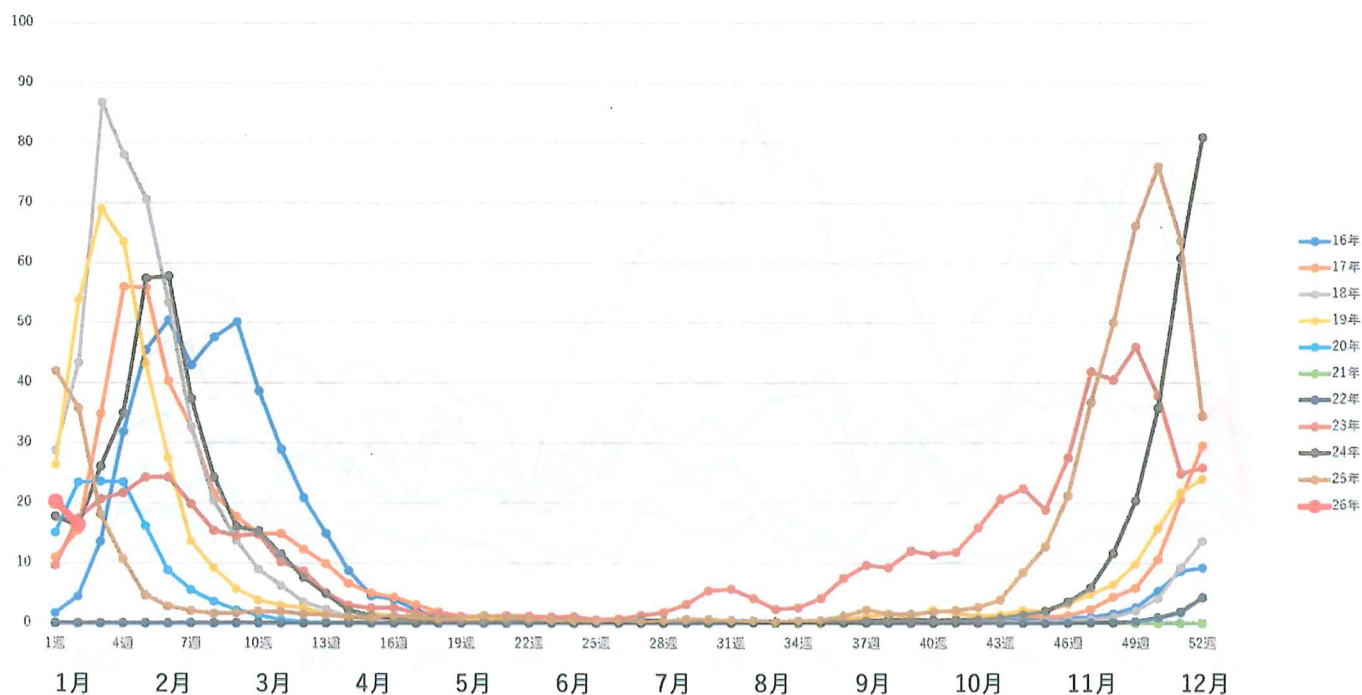
全数把握対象疾患発生状況（保健所別）

令和8年－第2週(R8.1.5～R8.1.11)

感染症 類 型	疾病名	保健所													
		北九州市	福岡市	久留米市	宗像・遠賀	粕屋	筑紫	糸島	田川	北筑後	南筑後	京築	嘉穂・桂平	計	
二類	結核		2	4							2	1	2	11	
三類	細菌性赤痢														
	腸管出血性大腸菌感染症		2											2	
	腸チフス														
	パラチフス														
四類	E型肝炎														
	A型肝炎														
	エムボックス														
	ジカウイルス感染症														
	重症熱性血小板減少症候群														
	チクングニア熱														
	つつが虫病														
	デング熱														
	日本紅斑熱														
	ボツリヌス症														
	マラリア														
	ライム病														
	レジオネラ症		1											1	
	レプトスピラ症														
五類	アメーバ赤痢														
	ウイルス性肝炎														
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			1										1	
	急性弛緩性麻痺														
	急性脳炎														
	クリプトスポリジウム症														
	クロイツフェルト・ヤコブ病														
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2											2	
	後天性免疫不全症候群														
	ジアルジア症														
	侵襲性インフルエンザ菌感染症														
	侵襲性髄膜炎菌感染症														
	侵襲性肺炎球菌感染症		1	1										2	
	水痘(入院例に限る)														
	梅毒		8				1							9	
	播種性クリプトコックス症														
	破傷風														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症														
	百日咳		6		1	2		1		1	1			12	
	風しん														
麻疹															
薬剤耐性アシネトバクター感染症															
計			22	6	1	2	1	1		1	3	1	2	40	

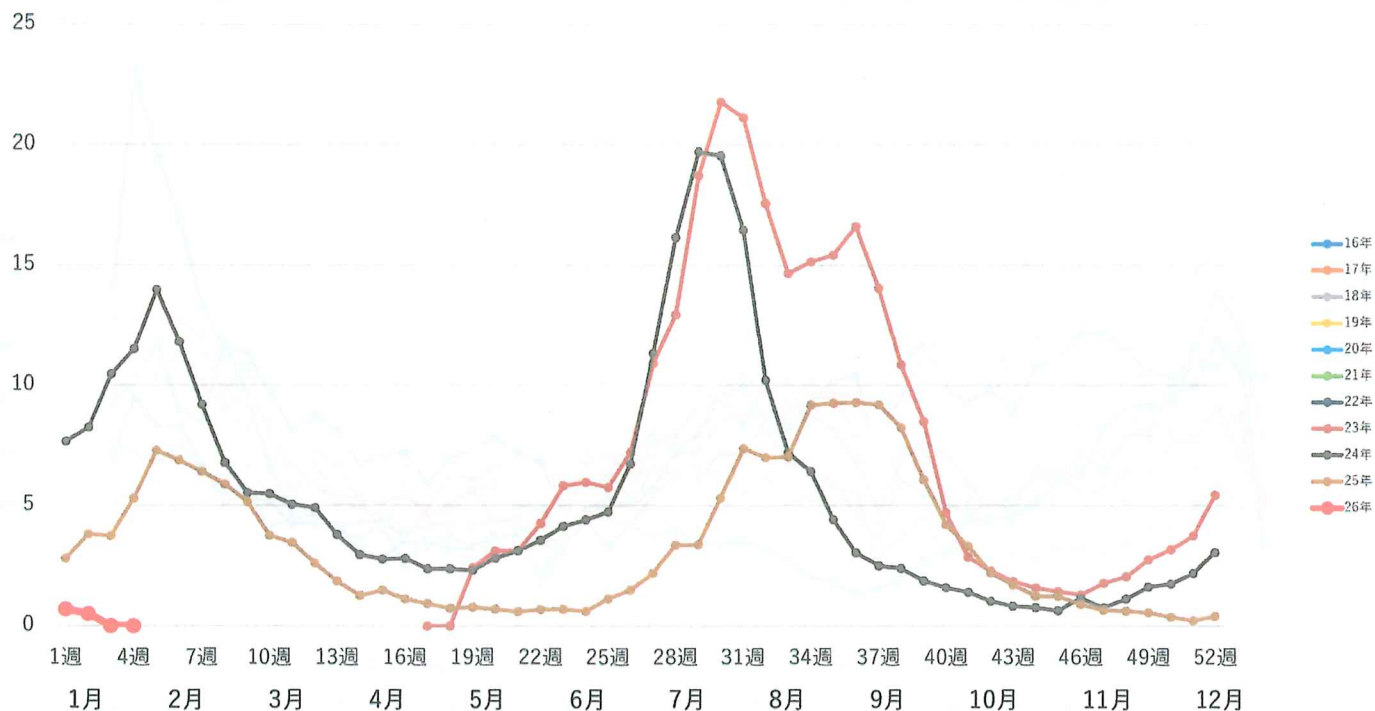
(定点値)

インフルエンザ 疾病毎定点当り報告数（過去10年間との比較）



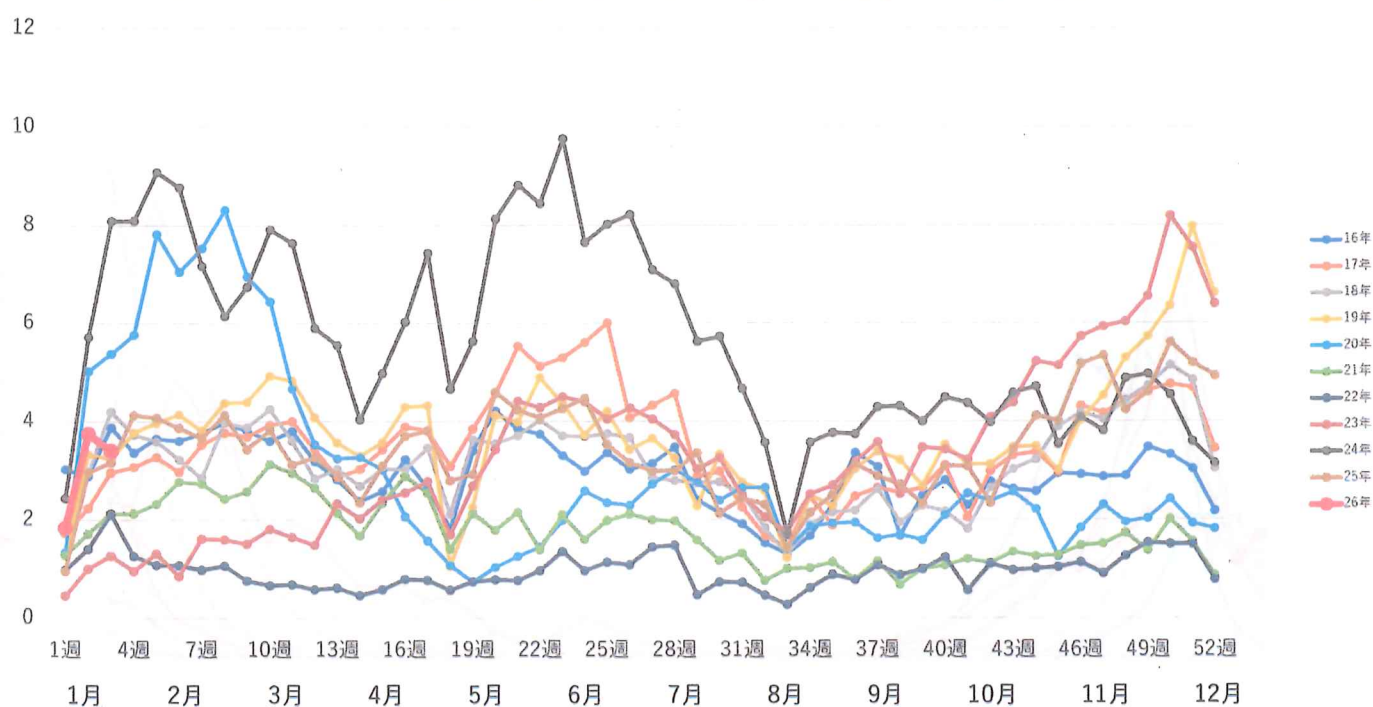
(定点値)

新型コロナウイルス感染症 疾病毎定点当り報告数（過去10年間との比較）



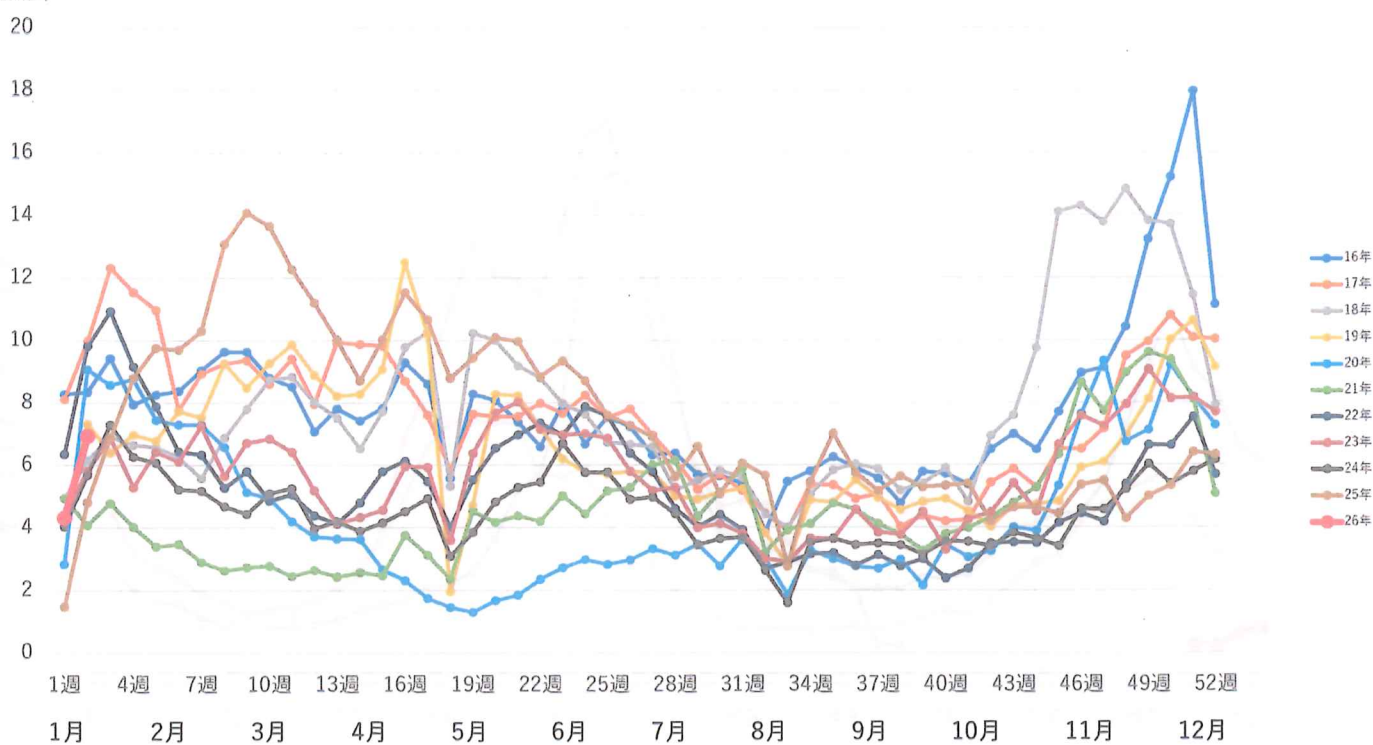
(定点値)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 疾病毎定点当り報告数（過去10年間との比較）



(定点値)

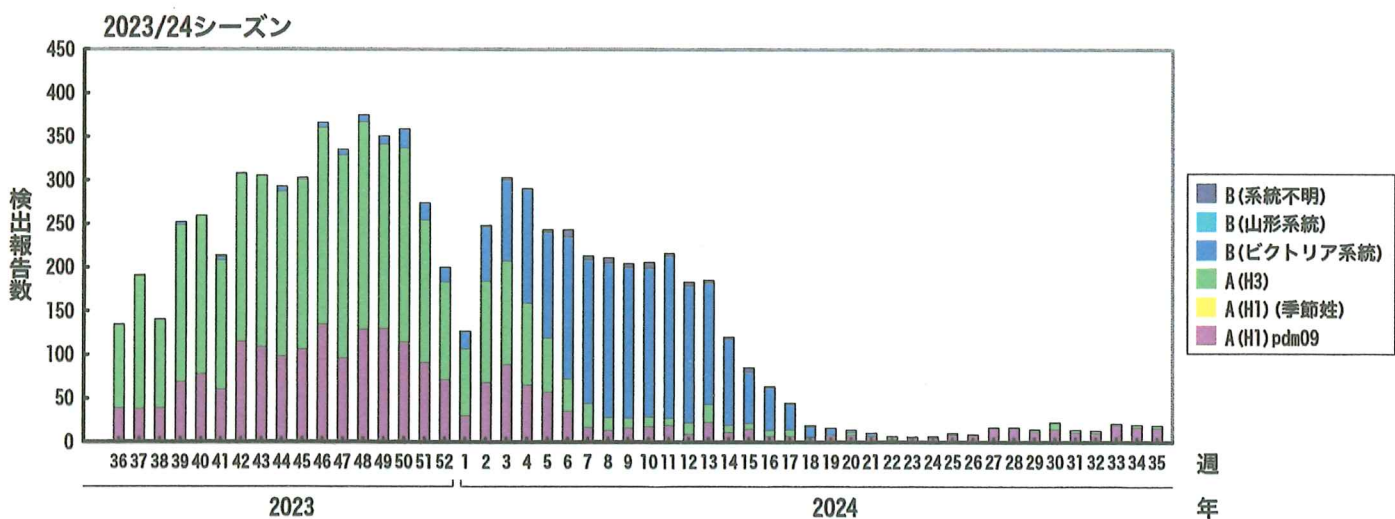
感染性胃腸炎 疾病毎定点当り報告数（過去10年間との比較）



(病原微生物検出情報：2026年1月20日 作成)

LASR

Infections Agents Surveillance Report



冬は特にご注意ください！

ノロウイルス

による

食中毒

食中毒は夏だけではありません。

ウイルスによる食中毒が**冬に多発**しています!!!

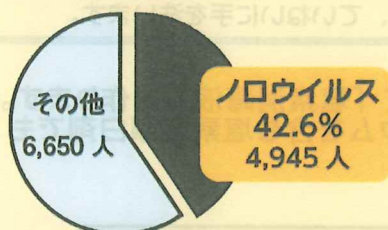
データでみると

ノロウイルスによる食中毒は、

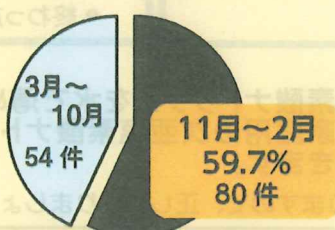
◆患者数で第1位

◆冬期に多い

◆大規模な食中毒になりやすい



原因別の食中毒患者数（年間）



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

ノロウイルス	36.7 人
その他	8.4 人

食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（令和2～6年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - ◎ トイレに行ったあと
 - ◎ 調理施設に入る前
 - ◎ 料理の盛付けの前
 - ◎ 次の調理作業に入る前
 - ◎ 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
 - ◎ 指先、指の間、爪の間
 - ◎ 親指の周り
 - ◎ 手首、手の甲

調理器具の

消毒

- 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

ノロウイルスQ&A

検索



ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・ リネン類などの

消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器などは、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの

処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオルなど（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1,000ppmの塩素消毒液に浸します。
 - しぶきなどを吸い込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

	食器、カーテンなどの 消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの 廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
製品の濃度				
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L

- ▶ 製品ごとに濃度が変わるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶ おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶ 消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<食品からの感染> ● 感染した人が調理などをして汚染された食品 ● ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <人からの感染> ● 患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ● 家庭や施設内などでの飛沫などによる感染	<潜伏時間> ● 感染から発症まで24～48時間 <主な症状> ● 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ● 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

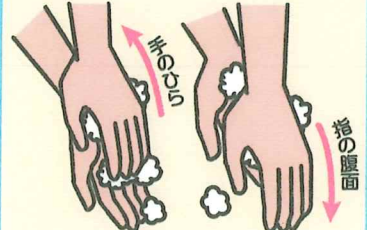
できていますか？ 衛生的な 手 洗 い



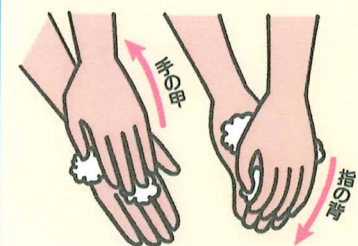
1 流水で手を洗う



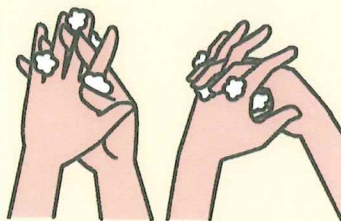
2 洗剤を手取る



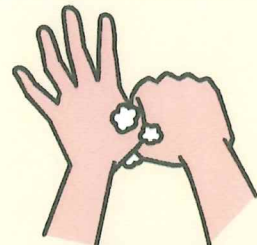
3 手のひら、指の腹面を洗う



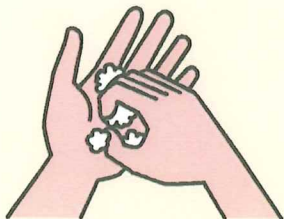
4 手の甲、指の背を洗う



5 指の間(側面)、股(付け根)を洗う



6 親指と親指の付け根のふくらんだ部分を洗う



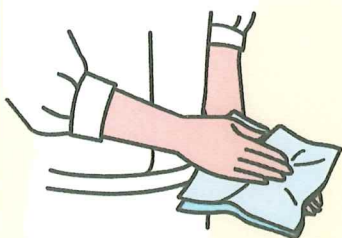
7 指先を洗う



8 手首を洗う (内側・側面・外側)



9 洗剤を十分な流水でよく洗い流す



10 手をふき乾燥させる



11 アルコールによる消毒

2度洗いが効果的です!

2～9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。

子ども

予防接種週間

令和8年
3月1日(日)
～
7日(土)



4月からの入園・入学に備えて
必要な予防接種をすませ、
病気を未然に防ぎましょう!

予防接種を
受ける際には、
母子健康手帳を
忘れずに!



● 予防接種に関する質問は、当院にご相談ください。● 接種希望者は予約してください。

当院では子ども予防接種週間中

ワクチン接種を実施します。